

西園寺東田日記 昭和五年十月十三日 頁二百五十四

それから英大使は日大係に於て極めて合理的な
要求だと思ふ。イギリスとしては思ふ所問題には
觸れ交くないから、さう云ふ建前から言へば、防共と
云ふ問題には鳥渡困る。だから防共に関しては
特別な方針で日支を橋密約といふやうなる事を
やつたらうと云ふと云ふやうなサゼンションをしてゐた。

~~二や三~~ 外務大臣に会つた処か、イギリスの大使は、何時でも
仲今の事を執るか目下、政府から申出さす事は出来なから
と云つて来たから、日大関係が動くやうなうは、こつち之壯
を決心したいがある。確かに在り助から、と云つてお前事に
通つて貰いたい。外務大臣が断つ言つたとか言ふのは
困ると言つた処か、^{正確な}助かは困るやうに君か言
つたとか言ふのは、^{外務大臣は}外務大臣の言ふので、水なら
自分だけの考で言ふので、名前の借つて置し
い。結局、名前から言つたとか言ふのは、^{外務大臣は}
と云ふやうなやつたやうか。

Mitsunaka

~~其後~~ 英王大使の話しに、^南南からは、^待待介在

の考は何時でも、用意がある、又那側からは言ひ
出しに、いかに、と云ふやうな言ひがあつた。日支那が
其用意があるならば、外務大臣に、何から人を
出さし、那側から人をあつて、毎あたりを
合はして、~~世~~世に交ひ。兎に、何英王は、おれだけ
なつて、そればかり、^表表に立つて、所謂、^三三の
今入といふこと、^下下ると困る。又、^日日大関係とか、^防防共
とか、^彼彼是を言ふやうな事も困るが、英王だけに
話し、^二二なることにした。それから、又、^日日大関係とか、^防防
共とか、^例例へば、^接接見について、^何何にし、^二二
対して、^考考は、^各各論なつた。といふことを、^二二
対して、^考考は、^各各論なつた。といふことを、^二二
対して、^考考は、^各各論なつた。といふことを、^二二

其後聯盟の條子を見ても、英王代表の如致
 委の爲に曰此の同盟は二國向といふたけいども
 地玉の利益が多分に入ることあるから、聯盟は本
 爲の利益を造る見ようといふ。日本と支那と
 両方を擁護せしめる條を定氣を出して、
 尚ほ東洋のことに就ては、東に於て歐羅巴
 は明く下ないのがあるから、少くとも両方の接近
 するのに邪向たなるやうなことはしまいといふ空
 氣を造つて置くたうも、矢張り英王の大使のクレ
 の努力があつたやうに感ぜられ、英王を引
 張る邊かたよりれば、支那は到底動くものか
 といふ、~~支那は英王の代表の如致を~~といふ
 外務大臣の流があつた。こゝに於ては、
 非常に定氣の悪いのはある、と云つて、香港
 を見ても、條の條の封鎖で、日中の通
 加へないといふやうな情状がある、といふよ
 うな事がある。尚ほ日物の大臣の流に「イタリ
 日本に防共のやうな事、又に軍事同盟の事
 も、を申出、来たけれど、自分には防共協定
 だけ、宜しいといふことを伊太利駐在の
 堀田大使に言つて置いた。